

# 居合道 だより

第150号





はじめに



新年明けましておめでとうございます。

いよいよ平成最後のお正月である。昭和前半生まれの筆者としては感慨もひとしおである。

思い起こせば平成の時代は、社会の成長とは裏腹に、地震や台風、豪雨等の天災、そしてそれらに起因する人災の多い時代だった。

今後、人類は地球とどう向き合い、どういう道を進んでいくべきかを考えさせら

れる時代でもあった。

この30年間、いったいどんな道を歩いてきたのかと自身を振り返ったとき、なぜか慚愧の念ばかりが浮かんでくる。あんなにいいこともたくさんあったはずなのに。

皆さんにとってはどんな平成だったのだろう。きっと充実した時代であったと拝察する。

さて、気を取り直して正月らしく、、、。

高村光太郎の「道程」に『僕の前に道はない。僕の後ろに道は出来る』という一節がある。青年の気概に溢れていて、小生の好きな言葉である。

武道においては、道はるかなり。一生修行である。修行に終わりはないという。過去を振り返らずただひたすら夢に向かって前進するか、あるいは過去の経験を活かして未来の指標にするか。

さあ剣友諸君、新しい年をどう生きる？！

一年の計は元旦に有り。今年目標を立てるときに、是非これも考えて欲しい。『何のために居合をやっているのか』と。

新しい元号がスタートする2019年の始まりに、昨年ノーベル医学生理学賞を受賞した京都大学、本庶佑特別教授がノーベル博物館に揮毫した言葉を紹介しよう。

『有志竟成（ゆうしきょうせい）』

「志を曲げることなく堅持していれば、必ず成し遂げられる。」

剣友の皆様が本年も有意義な一年間を過ごせますように。



## 福岡県剣道連盟 居合道部 会長 迫野 康雄

新年あけましておめでとうございます。  
剣連居合道部会員の皆様には健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返れば 10月に茨城県で開催された都道府県対抗優勝試合で3位に入賞したことは、剣連居合道部にとりましても素晴らしい成果ではないでしょうか。

ただ勝敗にこだわることでなく監督コーチと選手が同じ目標に向かってお互いが一緒になって稽古(師弟同行)することが心身、技術の向上につながり成果として残ったのだと思います。継続は力なり今年もがんばりましょう。

さて「1年の計は元旦にあり」と申しますが、皆さんの今年の目標は立てましたか。居合が上手になりたい、審査を受けて昇段したい、とか個人個人で色々な希望があると思います。その目標達成に向かって行動(稽古)を起こしてください。行動したら目標に向かって着実に前進し努力することを「無理」とか「できない」とか弱音をはかないで自分の持っている能力や才能、技能を最大限に発揮し、弱音を阻止し目標達成に向けて努力すれば必ずあなたは「してよかった」と思うことでしょう。そして次につなげる良い経験となるでしょう。

「少年よ、大志を抱け」クラーク博士の有名な言葉である。

大志を抱くという事はそれを成し遂げることができるという証である。夢を見る能力が備わっているなら、その夢を実現する能力も備わっているからだ。

大きな夢を抱き、勇気を出して行動を起こそう。

あなたは目標に向かって飛躍するために生まれてきたのだ。臆病になってはいけない夢に向かって邁進しよう。

(自分を磨く方法)より

## 2018年全日本居合道大会を終えて

### 六段の部 末次 輝

静けさの中で、斬下しの余韻だけが会場を包み込み、各県の代表が気と気をぶつかり合わせる全日本居合道大会は、茨城県水戸市で開催されました。日本最高峰の居合道の大会ですが、出場選手にとっては大きなプレッシャーの掛かる大会で、今年で4回目の出場となります。

今年のテーマは「平常心」を掲げて臨みました。過去3回の大会をみても、会場の床を踏みしめた瞬間、グググッと体に力が入り、心拍数が上がっていったのを覚えています。日頃から福岡県の先生方に丹田に力を込めなさいとご指導いただいておりますが、理解はしていても体は言うことを聞いてくれません。しかし、1回戦、2回戦と勝ち上がるに連れて、腹式呼吸を意識できるようになりました。短く吸って、長く吐くように意識すると、自然と肩の力が抜けていきました。3回戦では開催県である茨城県代表、4回戦では神奈川県代表と対戦しました。結果は準々決勝で敗退し、ベスト8でした。

大舞台で平常心を保つことは、非常に難しいことです。恐らく、何度この舞台を経験したとしても、この緊張状態を克服することはできないでしょう。しかし、この緊張状態を呼吸によってコントロールすることができれば、日頃の練習の成果を十分発揮できるかもしれないとも思いました。

引き続き、新たな目標に向かって邁進できるように頑張ってお参りますので、福岡県居合道部の皆様には引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 主な活動

12月 9日 日 福岡県居合道地域稽古会 田川市

## 1月・2月の活動予定

1月 6日 日 居合道初稽古会 居合道部 福岡武道館

## 第53回全日本居合道大会 観戦記

野田 尚徳

平成30年10月20日（土）、暑かった夏から冷え込みの増した秋の茨城県武道館において、標記大会が実施された。

我が福岡県代表は、國方孝之監督をはじめ、馬場清治選手（七段の部）・末次輝選手（六段の部）・佐伯伊勢雄選手（五段の部）の三名が出場した。

東審判長による指定技は2本目（後）・6本目（諸手突き）・10本目（四方切り）の発表があり、試合が開始された。

五段の部、佐伯選手は、今回初陣でもあり、しかも開会式直後の1回戦 緊張の中 島根県の梶谷選手と対戦した。2本目（後）で やや硬さがみられたものの 後は、覚悟を決めたような 開き直った居合で勝負したが、1-2で惜敗した。

六段の部、末次選手は、落ち着いた居合で 初戦から3回戦まで勝ち上がり 4回戦で神奈川県の中野選手と対戦した。持ち前の開き直った居合で勝負したが、1-2で敗れた。

七段の部、馬場選手は、2回戦からの出場で、順調に4回戦まで勝ち上がり、準決勝で愛媛県の宇都宮選手と対戦し、切れ味鋭い居合で勝負したが、1-2で敗れた。

大会の結果は、団体の部で、茨城県が第一位、第二位神奈川県、第三位は高知県・東京都と同率で、福岡県が入った。

大会前、國方監督は「強化稽古で学んだことを、試合で吐き出せ、結果は後からついてくる。」と檄を飛ばして、選手達を鼓舞された。試合終了後、選手達のちょっと悔しげな中に、爽やかな表情が印象的であった。

## 超有名な刀の紹介

### 福岡県剣道連盟居合道部

#### 理事 小田 信秋

「大典太光世（おおてんたみつよ）（おおでんたみつよ）とも」聞いたこと有りませんか？天下五剣の名刀のうちのひとつであり、国宝に指定されています。大典太は足利将軍家の家宝でしたが、足利家の没落により流出し、豊臣秀吉～徳川家康～前田利家に渡り、以降、前田家第一の家宝として代々伝えられたと有ります。現在は、前田家伝来の文化財を保管している「前田育徳会」に所蔵されているそうです。

実はこの刀「三池典太」とも言われ、大牟田の刀工が打った刀なのです。すごくないですか？天下五剣の内の一振りが福岡の刀なのです。天下五剣とは、特に名刀といわれる五振りの日本刀で国宝に指定されている三点「三日月」「童子切」「大典太」御物「鬼丸」そして重要文化財「数珠丸」の五剣を指します。御物（ぎよぶつ）とは天皇家に伝来した所蔵品のことを言います。



先だって大牟田の地にて、市や商工会議所など十四団体で設立された「大牟田たーんとよかところ協議会」主催のイベントが有り、遠くは北海道や東京また九州一円から多く（200名とも）の刀剣ファンが集まりました。その参加者の割合は女性が約9割だったとか。巷で言われる「刀剣女子」<sup>とうけんらんぶ</sup>刀剣乱舞という刀を擬人化させたオンラインゲームから火がつき、有名な刀の展示があると聞くと日本全国行脚する・・・行動力溢れる方々です。



かくゆう私の娘もその一人です。娘は居合を遣っていて刀剣に興味を持った変わり者です



© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第150号 平成31年1月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847